

みずほCustomer Desk Report 2019/02/20 号(As of 2019/02/19)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.58
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	110.60	1.1312	125.12	1.2924	0.7131
SYD-NY High	110.82	1.1358	125.54	1.3073	0.7174
SYD-NY Low	110.45	1.1276	124.77	1.2897	0.7104
NY 5:00 PM	110.60	1.1341	125.38	1.3065	0.7163
NY DOW	25,891.32	8.07	日本2年債	-0.1800	0.00bp
NASDAQ	7,486.77	14.36	日本10年債	-0.0300	0.00bp
S&P	2,779.76	4.16	米国2年債	2.4903	▲2.69bp
日経平均	21,302.65	20.80	米国5年債	2.4585	▲3.37bp
TOPIX	1,606.52	4.56	米国10年債	2.6348	▲2.87bp
シカゴ日経先物	21,330.00	110.00	独10年債	0.1040	▲0.50bp
ロンドンFT	7,179.17	▲40.30	英10年債	1.1685	0.40bp
DAX	11,309.21	10.01	豪10年債	2.1280	0.50bp
ハンセン指数	28,228.13	▲118.88	USDJPY 1M Vol	5.79	▲0.20%
上海総合	2,755.65	1.29	USDJPY 3M Vol	6.55	▲0.18%
NY金	1,344.80	22.7	USDJPY 6M Vol	7.11	▲0.17%
WTI	56.45	0.86	USDJPY 1M 25RR	-0.84	Yen Call Over
CRB指数	182.24	0.91	EURJPY 3M Vol	7.23	▲0.19%
ドルインデックス	96.54	▲0.37	EURJPY 6M Vol	7.84	▲0.15%

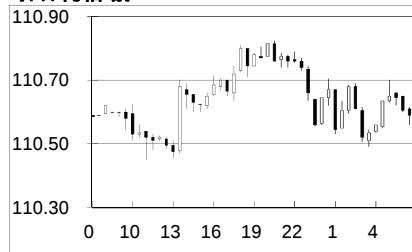
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月19日	18:30	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	12月 3.4%	3.4%
	19:00	独 ZEW調査(現状/期待指数)	2月 15/-13.4	20/-13.6
	22:50	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	「年内多少の利上げ必要、BSの縮小見送りは可能」	

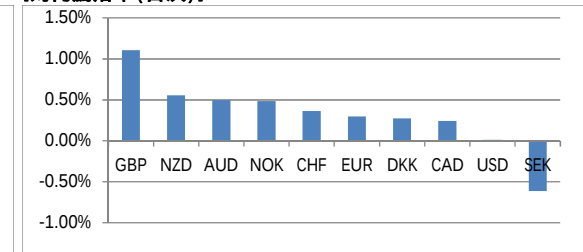
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月20日	08:50	日 貿易収支	1月 -¥1029.1b	-¥56.7b
	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	1月 -0.1%/2.2%	-0.4%/2.7%
	16:00	欧 プラートECB専務理事 講演	-	-
2月21日	03:10	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	04:00	米 FOMC議事要旨	30-Jan -	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.20-110.90	1.1270-1.1360	125.00-125.80

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円は方向感なく推移。米中が人民元相場安定の保証を最終的な合意の枠組みに組み入れることで暫定合意したと伝わると、ドル全面売りの展開となるもドル円だけはレンジ推移となった。先週にはブレインード連銀総裁からも発言があったが、昨日はメスター総裁からもバランスシートに関する発言が出ており、明日のFOMC議事録に注目が集まるなか、本日は様子見姿勢継続が。

東京	東京時間のドル円は110.60レベルでオープン。朝方は110円台半ばで上値の重い展開が続いたが、午後に衆院財務金融委員会において黒田日銀総裁が、米国の利下げが経済、物価に対して影響を与え、2%の物価目標達成のために必要となれば追加緩和を検討すると発言したことで110.70まで上昇した。その後は若干値を下げ、110.65レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は110.65レベルでオープン。東京時間の流れを引き継ぎ、午前中は小幅に切り上げ110.82まで上昇する局面もあった。午後は目立った材料が無いなか、方向感なし(110円台後半での推移となり、結局110.76レベルでNYへ渡った。ロンドンドルは1.2865レベルでオープン。午前中は英国12月雇用統計の発表はあったが、12月失業率が予想値と一致し、相場への影響は限定的。結局1.2943レベルでNYへ渡った。(ロンドン7時 - 00531 444 179 マルセル)
ニューヨーク	NY市場のドル円は110.76レベルでオープン。朝方はメスター・クリーブランド連銀総裁が「経済見通しが想定通りなら、政策金利を現状より少し高くすべきかもしれない」と述べたものの、ドル円の反応は限定的だった。その後、米10年債利回りが低下する動きに110.56まで下落するが、米株がナスダックに浮上し110.70まで戻す。午後は関係者の話として「通商協議で米国は中国に人民元の安定維持を要求」とのヘッドラインに人民元買いドル売りが強まり、ドル円もつられて110.49まで反落。終盤は米金利が下げ止まったことや、米株の堅調推移を受け、110.69まで戻し、110.60レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルはユーロの買い戻しに1.1324まで上昇する場面もあったが、プラートECB理事が「ユーロ圏経済が一段と減速した場合、利上げ時期の調整は可能」と述べたことや、独12月ZEW現況指数が予想を下回る中、上値は重く、次第に1.1276まで反落。その後、小幅に値を戻し、1.1288レベルでNYオープン。朝方は米金利の低下を受け、ドルが売られ1.1343まで上昇。その後、ドル売りが一服し1.1324まで反落するが、米中通商協議に関する報道にドル売りが進み、高値1.1358を付ける。終盤は1.1340付近で小動きとなり、1.1341レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 福田・玉井